

みんなつながれ！あそびのつながり基地

徳地からポン太が街にやってきました！

- 【ねらい】
- ① 集団遊びや遊びリンピックなど、様々な遊びの体験を通して、体験することの楽しさや喜びを親子や友達とを感じる。
 - ② 集団遊びを通して、社会性を身に付ける素地を養う。
 - ③ 保護者へ関係書類を配布し、「体験の重要性」や「体験の風をおこそう」運動の周知を図る。
 - ④ 山口大学教育学部生の、教職に関する資質能力の向上に資する。

【期日】平成30年10月28日（日） 【参加者】1,346名 【場所】山口市中央公園、山口市中心商店街内 マルシェ中市

【プログラムの内容】

山口大学教育学部小学校教育コース小学校総合選修：物づくりブース、外遊び（集団遊び）ブース

山口大学教育学部ちゃぶ台研修部：二重らせんストラップづくり、巨大ピタゴラスイッチ等

自然の家：遊びリンピック、クラフト、玉入れ大会

山口大学教育学部小学校教育コース小学校総合選修



「集団遊び」しっぽ取りや様々な鬼ごっこをしながら遊びました。初めて会う子ども同士が、あつという間に仲良くなって一緒に遊んでいました。



「外遊び」ボールを使ってストラックアウトをしています。前の人の動きを見ながら、小さいお子さんも頑張って投げていました。



マルシェ中市では、クラフトブースも実施していました。子ども達が楽しく作れるように、直前まで念入りに準備していました。

山口大学教育学部ちゃぶ台研修部



「二重らせん工場」大学生のお兄さん・お姉さんに優しく教えてもらいながら、ストラップを作っていました。



「巨大ピタゴラスイッチ」ビー玉がバケツに入るように、子ども達が試行錯誤しながら木材を組み立てていました。



「的当て」大きなドッジビーを使っての的当てです。高校生のお兄さんたちにもお手伝いをさせていただきました。

徳地自然の家



ポン太が街にやってきました。ポン太とふれあったり、写真を撮ったりして大人気でした。



「遊びリンピック」法人ボランティアの大学生があそびを企画し、運営しました。何度もチャレンジしている子どもがたくさんいました。



子どもVS大人の玉入れ大会をしました。勝負となると大人も本気で、どの回も白熱していました。

【参加者（保護者）の声】 「大学生と交流ができるのはとてもいい機会だった」、「小さい子供が気軽に遊べる場所を提供してくれたのはとても嬉しい」、「無料で様々な遊びや体験をすることができるのはよかったです」等の声をいただきました。

【成果】 高校生・大学生がスタッフとして運営することで、未就学児・小学生・大人と、異年齢交流をすることができた。また、高校生・大学生は、保護者へ対応をしたり、子供と接したりすることで、コミュニケーションの取り方を学ぶことができた。

【課題】 体験の重要性や体験の風をおこそう運動を周知するために保護者へ関係書類を配布したが、配布するのみなのでどこまで周知できたかは不明である。子供達を見守っている保護者へどのように声かけ等していくかが今後の課題である。